ORDERVANE_

Quantower 向け大口取引検出

/

Pro — インストール・アクティベーション ガイド

ordervane.com

© 2026 OrderVane. All rights reserved.

目次

はじめる前に 4

ステップ 1 — Quantower の「Indicators」フォルダを見つける 4

ステップ 2 — Quantower を終了する 4

ステップ 3 — OrderVane フォルダをコピーする 5

ステップ 4 — Quantower を再起動する 5

ステップ 5 — OrderVane をチャートに追加する 5

ステップ 6 — ライセンスキーを入力する 5

ステップ 7 — 動作を確認する 6

フットプリント足の読み方 6

クイックメニュー（チャート上） 7

板の壁 8

セッション水準 9

Session Map ウィンドウ 10

大口約定リスト 12

ボリューム・シェルフ — Pro は履歴を加えます 12

計測レイヤー 13

最初の 30 分 14

次のステップ 15

ライセンスとアクティベーション 15

新しいバージョンへの更新 15

アンインストール 16

トラブルシューティング 16

設定リファレンス 17

Pro に含まれるその他 28

サポート 28

免責事項 28

OrderVane Pro はローソク足を開きます。 Lite のすべて —
大口約定バブル、アグレッション・クラスター、吸収 — に加えて、フットプリントの全機能：各ローソク足の内側にある売買セル、インバランスと積み重なったインバランスのゾーン、足ごとの POC とバリューエリア、チャート上のクイックメニュー、そして板に置かれている指値の壁。

OrderVane は分析・可視化ツールです。注文を出すことはなく、売買シグナルも出しません。判断も執行も、すべてご自身のブローカーで行っていただきます。

> 概要 — 約 3 分。 Quantower を終了 -> `OrderVane_Pro` フォルダを Quantower の `Settings\Scripts\Indicators` フォルダにコピー -> Quantower を再起動 -> ライセンスキーを貼り付け。詳しい手順は以下のとおりです。

はじめる前に

以下が必要です。

- インストール済みの Quantower（無料版またはお使いのブローカー版。最新バージョンを推奨）。Quantower 1.144.4（ヘルプ -> バージョン情報）を基準に開発・テストしています。それより古いバージョンでも動作する場合がありますが、テストはしていません。
- Windows（Quantower デスクトップ版）。
- お客様の OrderVane Pro ライセンスキー — 購入確認メールに記載されています。
- OrderVane Pro のダウンロードファイル（`.zip` ファイル） — そのメール内のダウンロードリンクから入手します。`.zip` にはインジケーターと本ガイドが含まれています。
- 初回アクティベーションと再検証のためのインターネット接続。再検証はインジケーターの読み込み時と設定の変更時に行われます。
- 分析する銘柄の約定（time & sales）データ。フットプリントは約定した取引から作られます。
- Level 2（板情報）データ — 板の壁の線を表示したい場合にのみ必要です。それ以外はすべて、これがなくても動作します。

ステップ 1 — Quantower の「Indicators」フォルダを見つける

Quantower はカスタムインジケーターを `Settings\Scripts\Indicators` フォルダから読み込みます。標準的なインストールでは、次の場所になります。

```
C:\Quantower\Settings\Scripts\Indicators
```

Quantower のインストール場所が分からない場合: `Settings\Scripts\Indicators` を含む Quantower フォルダを探してください。

ステップ 2 — Quantower を終了する

必要であればワークスペースを保存してから、Quantower を完全に終了してください（チャートだけでなくアプリケーションを閉じます）。Quantower の実行中は、インジケーターファイルをインストールまたは置き換えることはできません。

ステップ 3 — OrderVane フォルダをコピーする

1. OrderVane のダウンロードファイルを解凍します。
2. `OrderVane_Pro` フォルダを、ステップ 1 の `Indicators` フォルダにコピーします。

最終的に、次のとおり正確なレイアウトになるはずです。

```
...\Settings\Scripts\Indicators\OrderVane_Pro\OrderVane_Pro.dll
```

> Windows の「ブロック」表示（任意） — インターネットからダウンロードしたファイルに Windows が付ける印です。Quantower がインジケーターを読み込むのを妨げませんので、この手順は飛ばして構いません。それでも解除する場合は、`.zip` を右クリック -> プロパティ -> ブロックの解除 -> OK。

> ヒント — `Indicators` フォルダがまだ存在しない場合は作成してください。DLL はそれ専用の `OrderVane_Pro` サブフォルダ内に置いてください（そのまま直に置かないでください）。

> ウイルス対策の注意 — 一部のウイルス対策ソフトや Windows SmartScreen が、新しく署名のない `.dll` を誤検知することがあります。OrderVane は安全です。ウイルス対策ソフトが `OrderVane_Pro.dll` を隔離した場合は、隔離から復元し、`OrderVane_Pro` フォルダを除外に追加してください。

ステップ 4 — Quantower を再起動する

Quantower を再び起動し、新しいインジケーターを検出させます。

ステップ 5 — OrderVane をチャートに追加する

1. 分析したい銘柄のチャートを開きます — たとえば CL 原油先物（例: CLEM26）。OrderVane は、約定（time & sales）データを持つあらゆる時間足・あらゆる銘柄で動作します — CL に限りません。
2. チャートを右クリック -> Add indicator（またはツールバーのインジケーターアイコンをクリック）。
3. Custom -> OrderVane_Pro の下で OrderVane を見つけるか、検索ボックスに 「OrderVane」と入力します。
4. それを選択して確定すると、チャートに追加されます。

ステップ 6 — ライセンスキーを入力する

1. インジケーターの Settings を開きます（チャート上の OrderVane の名前を右クリック -> Settings、または歯車アイコンをクリック）。
2. License セクションで、お客様の License key を貼り付けます。

入力すると、OrderVane はキーをオンラインで検証し、ロックを解除します。有効なキーが入力されるまでは透かし（ウォーターマーク）が表示され、OrderVane のマーカーは非表示のままになります（ローソク足とチャートは引き続き完全に使用できます）。

ステップ 7 — 動作を確認する

- チャートに `OrderVane Pro` で始まる名前ラベルが表示されます。
- 設定の License status の行に、ライセンスが active と表示されます。
- ローソク足の幅が広くなるまでズームインします。各足の内側に買値・売値のセルが現れ、テープ上にはオーダーフローのマーカーが表示されます。

これで準備完了です — OrderVane がチャート上でテープを読み、足を開いています。

> 最初の読み込みには少し時間がかかります。 チャートを開いたり時間足を変えたりすると、Quantower は読み込まれたすべての足についてボリューム分析を再計算します。その間、セルとバブルは少しずつ埋まっていき、読み込んだ履歴が長いほど時間もかかります。OrderVane 自身のティックエンジン（既定でオン）が直近の足をすぐに埋めるので、古い足がまだ処理されている間もチャートの右側は使えます。

フットプリント足の読み方

フットプリント足は、1 本のローソク足の実体を価格のラダーに置き換えます。各行は 1 つの価格（またはティックのまとまり）で、それぞれの行が 2 つに分かれます：

- 左半分 = 買値側。 買値で約定した出来高 — 売り手が、待機している買い手の注文に売りをぶつけた分です。
- 右半分 = 売値側。 売値で約定した出来高 — 買い手が、待機している売り手の注文を買い上げた分です。

既定では各セルに出来高が表示され、数字の背後にはそのセルの大きさに比例した淡い横バーが引かれるので、数字を一つひとつ読まなくても相対的な活発さが分かります。セルの数字は、約定件数、その価格帯の買値・売値の割合、平均約定サイズにも切り替えられます（Footprint cell data type）。ただし約定件数と平均約定サイズはプラットフォームのボリューム分析から得られるため、OrderVane が自身のティックエンジンで構築した足では、この 2 つは出来高にフォールバックします。ティック集計は価格ごとの出来高は持っていても、価格ごとの約定件数は持たないからです。

行はまとめられています。 既定では 4 ティックが 1 行にまとめられます（クイックメニューの Ticks per row、または設定の Footprint price step）。1 にすると全ティックが見えますが、行が低くなるため、数字が収まるまでさらにズームインする必要があります。

色の意味

数字のほとんどは意図的に中立色にしています。色は、注目に値するもののためだけに使います：

- インバランス。 ある行の片側が反対側の 3 倍以上あるとき（Footprint imbalance ratio）、その半セルには色付きの背景チップが付き、数字が太字になります — 売値側には上昇色、買値側には下降色です。既定の OrderFlow パレットでは、それぞれシアンとオレンジです。緑と赤にしたい場合は、Footprint color scheme で Classic を選んでください。既定では同じ行の 2 つの半分を比較します（垂直）。斜めの比較 — ある価格の売値を 1 ティック下の買値と比べる方式 — は別のスイッチ（Diagonal imbalance enabled）で、既定はオフです。
- 積み重なったインバランスのゾーン。 インバランスの行が 3 行以上連続して積み重なると（Footprint stacked imbalance bins）、OrderVane はその価格帯を印し、価格がそこを抜けるまで右へ延長します。過去の足の上では上下の境界線だけが見えるので、セルは読みやすいままです。最後の足より右の空白はハッチングで塗られます。ゾーンの始まりには、件数と方向の矢印を添えた `Stack` のようなラベルが置かれます。破られたゾーンは、すぐに消えるのではなく淡い帯へと薄れていきます。

- POC — その足の中で最も多く約定した価格 — は金色の枠と星印で示され、金色の色付けはごく淡いものにとどめているので、セル自身のバーは読みやすいままです（Show POC highlight、既定でオン）。
- バリューエリア — POC を囲み、その足の出来高の 70% を含む帯（Value Area percent）— は、既定では上下の点線の境界線として描かれます。背景の着色、またはその両方に切り替えられます（Footprint value area style）。点線は、セルが隠れる地点を越えてズームアウトしても見えたままです。

OrderVane は各足の横に小さな水平のボリュームプロファイルも描きます（Footprint volume profile、既定でオン）— セルと同じ出来高を、その足がどこに約定を集中させたかが見える形にしたものです。足幅の一部を使うので、セルに幅をすべて使わせたい場合はオフにしてください。

各足の上では、合計出来高のラベルとデルタのラベルがその足の合計を示します（どちらも既定でオン）。

ズームアウトすると何が起きるか

OrderVane は画面を詰め込むのではなく、表示を簡略化します。これを行うしきい値は 4 つあり、そのうち 3 つは調整できます：

- 足幅が 34 px（既定）を下回るとセルは完全に隠れ、ローソク足だけが見えます（Footprint cluster min bar width）。
- 行の高さが 11 px を下回ると数字が隠れ、既定ではセルも一緒に隠れます（Footprint text min row height。Footprint: hide cells when numbers do not fit は既定でオンで、オフにすると数字のない色付きの箱が残ります）。対応する足幅のしきい値（Footprint text min bar width）もありますが、こちらも既定は 34 px です — つまり初期設定では、数字が消えるのと同じ足幅でセルも消えます。
- その足の最大セルの 3% より小さいセルは数字を表示しませんが、バーは残します（Footprint text dust filter %）。インバランスの行と POC は対象外です。
- 代表的な 4 桁の数字がその場所に収まらない場合も、セルは数字を表示しません。これは自動で調整され、設定はありません。

セルが隠れているときは、各足の下に小さな方向の三角が描かれ、その足のデルタがどちらへ向かったかを示します（Delta shadow when zoomed out、既定はオフ）。

> 足が空白またはハッチングになる場合 — 淡い斜線のハッチングと合計出来高の数字で描かれた足は、ブローカーがその足の出来高は報告したものの価格ごとの内訳は報告せず、OrderVane がその欠落区間の再試行をやめたことを意味します。不具合でも、読み込み中の状態でもありません。その区間の分布が単に手に入らないだけです。買いと売りの内訳が本当に分からないため、OrderVane はそこにあえてデルタを表示しません。ハッチング自体はほぼどのズームでも見えますが、合計出来高の数字には広い足幅が必要です（Footprint text min bar width、既定 34 px）。

クイックメニュー（チャート上）

チャートの左端、上から約 5 分の 1 の位置に、セル格子のアイコンが付いた小さなボタンがあります。クリックするとクイックパネルが開きます — 設定を開かずに画面の表示を変える最速の方法です。もう一度ボタンをクリックすると閉じます。パネルは作業中もチャートをパンしている間も開いたままで、チャートの他の場所をクリックしても閉じません。

左の列はフットプリントそのものを操作します：

- Footprint cells — ラダー全体のマスタースイッチ。

- STYLE — 4 つの行：Bar style、Color scheme、Value Area、Candle style。行をクリックすると、そのすぐ下に選択肢が開きます。複数の行を同時に開くことができ、選択肢を選んでもパネルは閉じません。 その下の Value area %（[−] 70% [+]）は、各足のバリューエリアが出来高のどれだけを覆うかを 1 から 100 で決めます。数字をクリックすると直接入力できます。
- Ticks per row — `[-] value [+]` のステッパー。ボックスには、1 行にまとめられているティック数が `4t` のように表示されます。1 より下へ下げると Auto が選ばれ、ボックスにはボラティリティの規則が選んだ値が `Auto 4t` のように表示されます。
- DISPLAY — POC highlight、足の上の出来高ラベル、足の上のデルタラベル、そして Delta shadow (zoom)。

右側には、チャートの上に描かれるものがすべて入っています。各列にはバナーがあり、その中のグループは見出しをクリックすると折りたたまれます：

- Symbol preset — MARKERS の最初の行です。クリックすると市場が展開し（CL / ES / NQ / GC / RTY / 6E）、1 つ選ぶとその市場の開始しきい値が即座に書き込まれます。その下にある 3 つの出来高ステッパーのいずれかに触れるとすぐに、行は Custom と表示されます。
- MARKERS — Big trade markers、Aggression clusters、Absorption、Reload markers に加えて、最も重要な数値ステッパー：Min volume、Bars（何本前の足までマーカーを描くか。0 ならすべてを表示し、その場合ボックスには実際に読み込まれた足の本数が表示されます）、Cluster vol、Absorb vol。Lane stacking、Apply adaptive、Importance filter は、バブルの配置、しきい値、ズームアウト時の間引き方を変えるものなので、大口約定の行の下に字下げして置かれています。
- LEVELS — Stacked imbalance zones、Naked POC lines、Unfinished auction、Zero print levels、Bid/ask walls。
- CUSTOM PROFILE — Range profile (draw)、RP LVN bands、そして RP tape strip（ボックス内の速度ヒストグラム。既定はオフ）。
- UI — Overlay legend。
- BAR STATS — Bar stats grid、Row height、T/s meter row とその Data・Style・Smoothing・Alert の選択肢、そして Vol backdrop。
- PREV SESSION VA — セッション水準の操作：Show profile、Extend levels、Touch band、Absorption verdicts、Rebuild profile、Session hours とその Session open・Session close、VA %、Band ticks、Days back、そして Session Map window（Session Map ウィンドウを開く、このチャートに切り替える、前面に出す、または閉じる）。

数値ステッパーはすべて 3 通りの方法で操作できます：クリックするとちょうど 1 段、マイナスまたはプラスを長押しすると連続で（長く押すほど加速します）、そして行の上でホイールを回すことでも動きます。ホイールが捕捉されるのはステッパーの行の上だけです — それ以外の場所では、これまでどおりチャートをズームします。

いつものとおり、これらが変えるのは表示だけです — 注文には決して触れません。

行にマウスを合わせると、そのスイッチが何をするかを示すカードが出ます（設定ウィンドウと同じ文章です）。

板の壁

壁とは、板に異例の大きさの指値注文が置かれている価格水準です。OrderVane はそれを水平線として描きます — 現在値より下の買い側の量は青、上の売り側の量は暗い赤で、その横に数量を表示します。既定でオンです。

> Level 2（板情報）データが必要です。 OrderVane は Quantower からライブの板を読み取ります。ブローカーやデータプランに板情報が含まれていない場合、壁の線は描かれません。エラーメッセージは出ません — この機能が静かなままになるだけで、他はすべて動き続けます。

ある水準が壁に該当する条件：

- スキャンする上位 20 段（Wall scan depth）の水準の平均サイズに対して、少なくとも 3 倍あること（Wall size multiple）。代わりにパーセンタイルの規則に切り替えることもできます（Wall threshold mode）。
- サイズの下限を超えていること。既定では OrderVane がその下限を銘柄自身の板から導くので、その銘柄の典型的なサイズを知っておく必要はありません（Wall auto floor）。オフにすると、代わりに固定の Wall min size（15 枚）を使います。
- 少なくとも 5 秒そこに置かれ続けていること（Wall min age to show）。1〜2 秒のうちに現れては取り消される気配は、描かれることがありません。

知っておく価値のあることが 2 つあります。第一に、指値量は約束ではありません — 指値注文は日常的に取り消され、壁は価格が近づいた瞬間に消えることがあります。OrderVane が見せるのはいま板にあるものであり、そこで何が起きるかについては何も主張しません。第二に、壁はライブ専用の機能です：板の履歴は存在しないため、壁の線は市場の現在の状態に対してのみ存在します。

セッション水準

フットプリント足は、1 本の足の中で何が起きたかを教えてくれます。セッション水準は、市場がすでに時間をかけて合意してきた価格がどこかを教えてくれます — そして大半のオーダーフロー・トレーダーが実際に拠り所にしているのは、こちらの基準です。OrderVane はそれを直前のセッションから構築し、今日の取引が続く間チャートに残します。これは既定でオンです。

描かれるもの：

- 直前セッションのボリュームプロファイル。それが属するセッションの左側に描かれるので、そのセッションがどこで価値を築き、どこに空白を残したかが見えます。
- 右へ延長された VAH・VAL・POC。今日を横切って延び、それぞれに価格のラベルが付きます。価格が近づいていくのを見守るのは、これらの線です。
- 各線を囲むタッチバンド — 上下に数ティックずつ（Session levels: band ticks、既定 3）。価格がぴったりの数字で止まることはめったにないので、実際に「その水準で」が意味するのはこのバンドです。
- タッチが異例の労力を伴い、価格がバンドをほとんど突き抜けなかったときの吸収マーク。タッチが続いた期間にわたって水準の上に短いバーとして描かれ、`absorption` ラベルと、タッチが来た側を示す矢印が付きます（価格が上から水準まで下りてきたときは上向き、下から上がってきたときは下向き）。

吸収マークは観察であって、予測ではありません。それが言っているのは、この水準で大きな量が約定し、価格はそこを抜けなかった、ということです。これはすでに起きたことの説明です。確率でも、シグナルでも、推奨でもありません — それをどう使うかはあなたの判断です。

このマークは事後に描かれ、価格が到達した時点では描かれません。また、価格が突き抜けなかったときにしか描かれません。つまり見えている吸収マークはすべて水準が持ちこたえたタッチの上にあり、突き抜けたタッチにはマークが付きません。振り返ると、吸収マークはいつも完璧な成績のように見えます。それはマークの定義がそうさせているだけで、吸収があれば水準が持ちこたえるという証拠ではありません。

セッションの選び方

既定ではセッション時刻は空欄のままです（Session levels: session hours）。CME の株価指数・エネルギー・金属・金利・通貨・穀物の先物では、空欄は取引所の通常取引時間（シカゴ時間）を意味します — たとえば ES と NQ は 08:30–15:00、CL は 08:00–13:30 です。その他の市場では、OrderVane はチャートのセッション一覧からセッションを選びます。別の時間を使うには取引所の時間で入力します（例: `08:00-13:30`）。取引日全体を使うには `full` と入力します。

> ご自身の銘柄で確認しておく価値があります。
> 多くの銘柄では、プラットフォーム上のセッションが夜間取引と立会時間をまとめた 1 つだけで、自動検出はそこにあるものの中からしか選べません。得られたプロファイルが予想よりはるかに長い時間を覆っている場合は、自動検出に頼らず、欲しい時間帯を入力してください。

Session levels: sessions back（既定 1）は、直前のセッションをいくつ描くかを決めます。追加のセッションは淡く、タッチバンドなしで描かれます — バンドが印すのはいま測っている水準であり、複数の日に対して同時に測ることはバンドの目的ではないからです。

描かれるプロファイルと測定される水準は同じ対象なので、目に見えているものと吸収マークが判定しているものが食い違うことは決してありません。バリューエリアの割合やセッションの時間帯を変えると、プロファイルは再構築されます。また、最初に構築されたあとでプラットフォームが履歴をさらに埋めた場合は、クイックメニューから再構築を強制することもできます。

Session Map ウィンドウ

チャート上のセッション水準は、昨日の価値を見せてくれます。Session Map はそれを文脈の中に置きます：直近 5 セッションと今日を 1 本の価格軸に並べ、専用のウィンドウに表示するので、チャートをすっきりさせたまま 2 台目のモニターに置いておけます。このウィンドウは既定でオンで、OrderVane Pro がチャートにあると開きます。

ウィンドウに表示されるもの：

- LAST 5 SESSIONS — 過去の 5 セッションを横に並べ、それぞれにローソク足、ボリュームプロファイル、バリューエリアと POC、VWAP を表示します。バリューエリアはローソク足の背後にも帯として描かれ（計測に使った時間帯の幅で）、プロファイルではバリューエリアが色付き、それ以外がグレーで表示されます。各セッションの上のラベルは、そのセッションの価値がその前のセッションに対してどこに位置したかを示します：Higher value、Overlapping higher、Inside value、Outside value、Unchanged value、Overlapping lower、または Lower value。
- TODAY — 今日のローソク足と、その右側の形成中のプロファイル、今日の VWAP、そして横切って描かれる直前セッションの VAH・POC・VAL。
- VALUE（左）— 直前セッションの VAH・POC・VAL の価格、直近の約定価格がそのバリューエリアに対してどこにあるか（内側か、VAH の何ティック上か、VAL の何ティック下か）、そして直前セッションのラベル。
- WATCH（左）— 近くにある水準を最大 4 つ、価格の高いものから順に番号を付けて並べ、それぞれが何であるかと、何ティック離れているかを示します。同じ番号が、価格軸上でそれらの水準を印します。
- LAST 10 / 20 SESSIONS（左）— 直近の 10 セッションと直近の 20 セッションのうち、価値を上へ動かしたものがいくつ、下へ動かしたものがいくつ、どちらでもなかったもの（その前のセッションに対して内側、外側、または変わらず）がいくつあったか、さらにそれぞれの期間でバリューエリアの

中央がどれだけ動いたか（Net move）。
- VOLATILITY（左）— 5 分足での現在の ATR と、それがこの時間帯の通常の水準と比べてどうか。

このウィンドウにあるものはすべて、すでに約定したものの説明です。ウィンドウのいちばん上の行にもそう書かれています — `description, not a forecast` — そして WATCH のリストは場所の一覧であって、そこで行動するよう勧めるものではありません。

ウィンドウは 1 つ、チャートも 1 つ

Session Map ウィンドウは 1 つだけで、1 つのチャートに追従します。操作には、クイックメニューの Session Map window の行（PREV SESSION VA グループ内）を使います：

- ウィンドウが追従していないチャートでは、この行は Session Map: follow here と表示されます。クリックすると、ウィンドウはそのチャートに切り替わります。
- ウィンドウが他のウィンドウの後ろに隠れているか、最小化されている場合は、この行をクリックすると前面に出ます。次のクリックで閉じます。
- ウィンドウが閉じている場合は、クリックするとそのチャート用に開きます。

タイトルバーの X ボタンでウィンドウを閉じると、Quantower を再起動したあとも閉じたままになります。開き直すには、クイックメニューのこの行を使うか、設定の Session Map window をオフにしてからオンにしてください。

チャートの時間足や足の種類を変えても、ウィンドウは閉じません。

ウィンドウ自身のメニュー

ウィンドウのタイトルバーにあるメニューボタン — 右端に並ぶボタンのうちいちばん左のもの — をクリックするか、ウィンドウ内の任意の場所を右クリックします：

- Always on top — ウィンドウを他のウィンドウより手前に保ちます。T キーでも同じことができます。
- Snap to — ウィンドウを動かすときに吸着する対象：Off、QT windows、または QT windows + screen edges。
- Theme — 7 つのパレット。このウィンドウだけに適用され、チャートは自身の色のままです。Light では、マップそのものは今のところ暗いままです。
- Sections — Volatility、Watch levels、Value history の各ブロックをオン・オフします。Value は常に表示されます。左側のカードは、ウィンドウの幅が 1100 px 以上のときに現れます。
- Watch levels — いくつ表示するか（3〜6）、そして直前セッションの VAH・VAL・POC、VWAP、今日の POC のほかにどの種類を含めるか：夜間取引の高値と安値、直前セッションの高値と安値、15 分以上持ちこたえている今日の高値または安値、そして 2 セッション前のバリューエリアの端のうち直前セッションのバリューエリアの外側にあるもの。
- VWAP — VWAP の線（今日のものと、過去の各セッションのもの）を表示または非表示にします。
- Chart crosshair link — 既定でオン：チャート上でマウスが指している価格が、ウィンドウの同じ価格に点線と価格タグで示され、ウィンドウ上でマウスが指している価格はチャートに示されます。ウィンドウが追従しているチャートが対象です。ここでオフにできます。
- Session hours — Automatic は取引所のセッション一覧を使い、Regular hours は一度入力した立会時間を取引所時間で使います（メニューに取引所の現在時刻が表示されます）。ウィンドウはその銘柄で最後に使った立会時間を覚えているので、ワンクリックで両者を切り替えられます。取引日全体を覆う時間は立会時間として受け付けません。これは Session levels: session hours と同じ設定なので、チャートのセッション水準とこのウィンドウは常に同じセッションを使います。
- Minimize（ウィンドウがアクティブな間は、キーボードの X キーでも）と Close window。

ウィンドウは、位置、サイズ、テーマ、そしてこれらの選択を `Documents\OrderVane_SessionMap\desk_window.json` に記憶します。このファイルを削除すると、ウィンドウはメイン画面の下端にある最初の位置に戻ります。

必要なもの

Session Map
はチャートの銘柄を読み取り、その銘柄のために独自の履歴を読み込みます。主に出来高付きの 1 分足です。その履歴を読み込んでいる間は、ウィンドウにその旨が表示されます。お使いの接続がその銘柄についてその履歴を提供していない場合も、空のマップを描く代わりに、ウィンドウにその旨が表示されます。

セッションの時間帯が自動で、チャートのセッション一覧に終日のセッションが 1 つしかない場合、ウィンドウはその 1 日全体を使い、`RTH not set (one full-day session)` と表示します。立会時間を見るには、Session hours でその時間帯を入力してください。

大口約定リスト

チャート左のボタン列に、リストのアイコン(点3つと横線)のボタンがあります。押すと、そのチャートの大口約定を新しい順に並べた別ウィンドウが開きます。バブルが描くのと同じ約定(同じ最小サイズ・同じ読み込み済みの足)を最大500行まで表示します。もう一度押すとウィンドウが閉じます。

- 列 — TIME(お使いのPCの時刻。今日でなければ日付が付きます)、SIDE(B = 買い手が売り気配を取った、S = 売り手が買い気配を叩いた)、PRICE、SIZE。SIZE 内のバーはリスト中で最大の約定に対する大きさで、買いと売りの割合に分かれます。太字の数字はチャートの最小サイズの2倍以上です。
- ウィンドウを広げると列が3つ増えます — Δ%(約定のうち買い引く売りの割合)、BASIS(基準区間の全出来高に占めるこの約定の割合、Basis volume interval)、L2 %(その瞬間の反対側の板の待機数量に占めるこの約定の割合。リアルタイムの約定のみ、Level2 level count)。列の見出しにマウスを置くと説明が出ます。
- 行をクリック — チャートがそのバブルへ移動し、数秒間リングで示します(Highlight color)。上下の矢印キーで行を移るとチャートも追従し、Enter で選んだ行へもう一度移動、Home で最新へ戻ります。
- ツールバー — All / Buy / Sell、このリストの最小サイズ([−]/[+]。Shift を押すと10ずつ、マウスホイール、数字をクリックして直接入力。チャートのバブル最小サイズより下にはなりません)、ウィンドウを最前面に保つピン、最新の約定へ戻るボタン。
- ウィンドウを右クリック — Theme(Auto は Quantower に合わせる、Dark、Light、Slate、Terminal)、Snap to windows(近くまでドラッグすると Quantower のウィンドウの端にそろう)、Always on top、Go to newest。ウィンドウは位置・サイズ・テーマ・最前面の設定を記憶します。

リストのウィンドウは一度に1つで、最後にボタンを押したチャートを表示します。ボタンを隠すには、クイックパネルの MARKERS グループか設定で Big trades list をオフにします。すぐ隣の Buy/sell split は、各バブルを買いと売りの割合に分けて描きます。

ボリューム・シェルフ — Pro は履歴を加えます

シェルフそのものは Lite
と同じように動作します：周囲の出来高のうち異例の割合を占めた価格で、チャートに残され、3

つの窓で同時に測られます。詳しい説明は Lite ガイドにあります。

Pro が加えるのは、各シェルフのカウントです。価格がある水準に戻ってくると、OrderVane は終値がその水準をどう扱うかを見ます：

- `3/8` — 価格がそのシェルフを 8 回訪れ、そのうち 3 回は反対側での終値なしに終わった、という意味です。これは記録であって、予測ではありません。予想されるであろうパターン — 以前持ちこたえたシェルフは再び持ちこたえやすい — を私たちは実際に探しましたが、自分たちのデータの中には見つけられませんでした。そのためラベルには、合格の印も失敗の印も付きません。2 つの数字を示し、それにどれだけの価値があるかの判断はあなたに委ねます。このカウンターは出荷時オフです。表示するには、設定で `Volume shelf verdict counter` をオンにしてください。
- 線が現在の状態を表します。 直近の終値がその水準を尊重している間は、線は通常の太さの実線のままです。終値が水準の向こう側に着くと、線は淡い点線に変わります。カウントはどちらの場合も続くので、`2/9` と読める淡い線は「9 回の訪問のうち 2 回持ちこたえ、直近の終値は抜けた」という意味です。

決めるのは終値です。 ヒゲが水準を抜けても突破ではありません — 価格は反対側で足を確定させる必要があります。突き抜けの深さ、向こう側で過ごした時間、その水準での吸収は、他のマーカーから読み取れる証拠であって、投票権は持ちません。

破られたシェルフもチャートに残ります。OrderVane は「破られたサポートはレジスタンスになる」とは主張しません — その水準が持ちこたえなくなったことだけを記録し、読み方はあなたに委ねます。

計測レイヤー

ここまでの内容は、どれも 1 本の足を読むものです。以下の 2 つのツールは足をまたいで測ります：チャート端に固定される統計グリッドと、チャートの任意の区間にドラッグするレンジプロファイルです。グリッドは既定でオンです。レンジプロファイルはまずボックスを描く必要があります。

足ごとの統計グリッド

チャートの上端または下端に固定される小さな表です。1 本の足につき 1 列、ローソク足そのものと揃います。各行が 1 つの計測値です：合計出来高、デルタ、出来高に対するデルタの割合、セッション累積デルタ、足の中で到達した最大・最小デルタ、1 秒あたり出来高、足の長さ。行は 1 つずつ切り替えられるので、 2〜3 行だけにしておけば邪魔になりません。

2 つの行は挙動が異なります。Duration は時間足では定数です — ティック足やレンジ足でのみ意味を持つため、既定ではオフです。テープ速度の行は数字ではなく、選んだ計測値 — 既定は平均約定サイズ、ほかに 1 秒あたりの約定件数・出来高・デルタ — の小さなヒストグラムで、色はその足のデルタの向きを表します。既定の bipolar スタイルでは、デルタが正の足のバーは中心線の上に立ち、負の足のバーは中心線の下に垂れ下がります。

heat coloring を有効にすると、セルが値に応じて着色され、異常な足を数字を読まずに見つけられます。色の基準は画面上の内容に合わせられ、形成中の足はその基準から除外されます — 基準を歪めないためです。

> 空のセルは正直さです。 ある足にデルタのソースが一切ない場合 — ティックデータもプラットフォームのボリューム分析もない場合 — デルタ系の行はゼロではなくダッシュを表示します。ゼロは「完全に均衡している」と読めてしまい、それは「分からない」とは別の主張になるからです。

レンジプロファイル（ドラッグして描画）

チャート左端のプロファイルボタンを押し、任意の区間にボックスをドラッグします。OrderVane はまさにその範囲のボリュームプロファイルを構築し、すぐに描画します — プラットフォームの再計算を待つ必要はありません。

各ボックスは独立しています。選択中のボックスの下に、よく変更する項目のチップ列が現れます：各サイドのソース、バリューエリアの有無とその割合、POC、行のティック単位のまとめ、マグネット。左右で別のものを表示できます — 片方に出来高、もう片方にデルタというのはよくある構成で、そこで生まれる蝶の形は、方向を伴わずにサイズだけが約定した場所を見つけやすくします。

知っておくと役立つ挙動がいくつかあります。ボックスはチャートを覆わないよう、塗りつぶしなし・点線の枠で描かれます。プロファイルはボックスに追随します：移動やサイズ変更をすると数値が再構築されます。また既定では、チャート上のすべてのボックスが 1 つのスケールを共有するため、活発な 1 時間を覆うボックスは、静かな 1 時間のボックスより明らかに長いバーになります — 各ボックスに幅を使い切らせたい場合はオフにしてください。

最初の 30 分

実際になぞれる順序です。

1. セルが出るまでズームインする。
   数字が収まるまで足の幅を広げます。ローソク足しか見えないなら、まだしきい値の下です — 「何も表示されない」の原因として圧倒的に多いのがこれです。
2. 1 本の足をゆっくり読む。 POC（金色・星付き）、バリューエリアの点線、足の上の合計出来高とデルタのラベルを探します。他を足す前に、左=買値・右=売値を体に入れてください。
3. インバランスを見つける。 まず色の付いた太字の半セル、次にそれが積み重なっている場所を探します。その積み重なりが、後から実際に使うことになる延長ゾーンになります。
4. 1 行あたりのティック数を調整する。 クイックメニューを開いて Ticks per row を上下させます。小さくすれば細かく、大きくすればズームアウトでも読める行になります。正解の値はありません — 銘柄の呼値とご自身の取引距離次第です。
5. 水準を 1 つずつ有効にする。 クイックメニューの LEVELS グループで、Naked POC lines、次に Zero print levels、そして Unfinished auction の順に有効にし、ご自身の銘柄で何が増えるかを見てください。一度に全部つけると、どの線が何なのか分からなくなります。Overlay legend は既定でオンで、右上の折りたたまれた `> Legend` という小さなピルから始まります — クリックすると、いまチャートに出ている線やゾーンの種類（ゼロプリント、セッション水準、吸収マークを含む）を名前付きで示すボックスが開きます。凡例に行がない唯一の系統が Naked POC 線で、これは線上に `nPOC` と直接ラベルが付きます。
6. 板の壁を確認する（Level 2 が必要）。頼りにする前に数分観察してください — ご自身の銘柄で、どれくらいの頻度で持ちこたえ、どれくらいの頻度で引っ込むかを見ます。
7. 1 セッション、そのまま動かしておく。 一部の検出には履歴が必要で、ディープ・ティック・バックフィルが作業中にバックグラウンドで過去を埋めていきます。

週末にインストールする場合は？ 過去はブローカーのティック履歴から埋められますが、多くのブローカーは市場時間外には何も返しません。次のセッションまでチャートはほぼ空のままだと考えてください。そして、ライブデータが戻れば自動的に埋まっていくことも。

次のステップ

- 自分仕様にする。 OrderVane の名前を右クリック -> Settings
  で、セルの内容・色・行のまとめ方・しきい値・サウンドを調整できます。
- 表示専用、設計としてそうです。 OrderVane はオーダーフローを可視化します —
  注文を出すことも、売買シグナルを出すこともありません。主導権は常にあなたにあります。
- お困りですか？ hello@ordervane.com までご連絡ください — 喜んでお手伝いします。

ライセンスとアクティベーション

- 買い切り。 OrderVane Pro は買い切りです — サブスクリプションではありません。
- 端末に紐づきます。 ライセンスは最大 2 台のパソコンで有効化できます —
  デスクトップとノートなど。有効化は、キーを入力した端末に紐づきます。
- 接続性の猶予。 最初の有効化はオンラインで行う必要があります。その後は、短時間の切断で締め出されることはありません：インターネット接続がない場合、ライセンスは最後に確認が成功してから最大 7 日間は有効なままです。オンラインなのに当社のライセンスサービスに接続できない場合は、ソフトウェアは再試行を続けます。サービスに約 2 時間接続できないままのときにかぎり、サービスが復旧するまで一時停止します（チャート上の描画は非表示になり、通知が表示されます）。復旧すると自動的に再開します。
- パソコンを移行する。 古いパソコンで OrderVane の設定を開き、2 つともチェックしてください —
  「Release license from this PC」と、その隣の確認用チェックボックスです — そして適用します。両方必要なので、うっかりクリックしても枠が解放されることはありません。解放すると、新しいパソコンでキーを入力できます。解放時にキーの欄は空になるので、キーは見つけられる場所に保管してください。
- キーは大切に保管してください — 購入メールに記載されています。

何が枠を消費するか — 有効化は Windows のユーザーアカウントごとに、`Documents`
フォルダ内に保存されます。その保存された有効化を削除する、あるいは同じパソコンで別の Windows アカウントから Quantower を実行すると、新しいマシンとして扱われ、もう 1 枠を消費します。

新しいバージョンへの更新

新しいパッケージが出ると、チャートのインジケーター名に ↑ Update available
と表示されます。アップデートはライセンスに含まれます — 詳しい手順は ordervane.com/update にあります。

1. 注文ページから現在のパッケージをダウンロードします — 購入メールのリンクを開くか、
   app.lemonsqueezy.com/my-orders
   で購入時のメールアドレスを入力してください。
   このリンクは常に現在のパッケージを返します。購入した当時のものではありません。
2. Quantower を終了します。

3. 古い `OrderVane_Pro.dll` を新しいものに置き換えます（または `OrderVane_Pro` フォルダごと置き換えます）。
4. Quantower を再起動します。

チャート・レイアウト・OrderVane の設定は保持されます —
インジケーターを追加し直す必要も、ライセンスキーを入れ直す必要もありません。

OrderVane は 1 日 1 回、新しいビルドがあるかを確認し、あればチャートの名前ラベルに update available と表示します。この確認では何も送信しません —
ライセンスキーもマシン識別子も、チャートや取引のデータも送りません —
また、自動的に何かをダウンロードしたりインストールしたりすることもありません。

アンインストール

1. 別のパソコンへ移りますか？ 先に枠を解放してください（上のライセンスとアクティベーションを参照）。解放はインジケーターの中から行うため、フォルダを削除した後ではご自身でその枠を解放できなくなります。
2. Quantower を終了します。
3. `...\Settings\Scripts\Indicators` から `OrderVane_Pro` フォルダを削除します。
4. Quantower を再起動します。

トラブルシューティング

症状	対処
インジケーター一覧に OrderVane がない	ファイルが `...\Scripts\Indicators\OrderVane_Pro\OrderVane_Pro.dll` にあることを確認し、Quantower を完全に再起動してください（チャートウィンドウだけでなくアプリを終了）。
「Can't restore indicator」／再起動後に消える	DLL をコピーではなく置き換えたこと、そして完全に再起動したことを確認してください。それでも続く場合は、インジケーターを削除して追加し直し、ワークスペースを保存してください。
ウォーターマークが出る／マーカーが表示されない	設定に有効なライセンスキーを入力し、インターネット接続を確認してください（最初の有効化はオンラインです）。
「Activation limit reached」	そのキーは既に 2 台で有効化されています。どちらかで 「Release license from this PC」を使うか、サポートにご連絡ください。
足の中にセルが出ない	ズームインしてください。既定では、セルは足幅が 34 px を下回ると隠れます（Footprint cluster min bar width）。クイックメニューで Footprint cells が有効かも確認してください。
セルに色のブロックだけ出て数字がない	Footprint: hide cells when numbers do not fit がオフになっています（既定はオンで、その場合はセルごと隠れます）。そのうえで行が低すぎて文字が入りません。さらにズームインするか、Ticks per row を上げて行数を減らし高くするか、Footprint text min row height を下げてください。

症状	対処
一部の足が空白またはハッチング	ブローカーがその区間の価格別内訳を提供していません。ハッチングはほぼどのズームでも見えます。ズームインすれば合計出来高も確認できます。データの制約であり、不具合ではありません。
チャートを開いた後、セルとバブルの表示が遅い	Quantower が読み込んだ履歴のボリューム分析を再計算しています。速くしたい場合は読み込む期間を短くしてください。「Footprint loading...」の表示は、視野内に最初のセルが出た時点で消えます — 全期間の準備が整ったという意味ではなく、古い足は裏で埋まり続けていることがあります。
ローソク足が他のチャートと違って見える	設計どおりです。OrderVane は独自のローソク足を描き、重ならないよう Quantower のものを隠しています。プラットフォームのローソク足に戻すには、Cover platform candles と Wide candle overlay enabled の両方をオフにしてください。前者だけをオフにするとローソク足が二重に描かれ、後者だけをオフにするとローソク足が一切なくなります（プラットフォーム側の描画は隠れたままのため）。
壁の線がまったく出ない	板の壁には Level 2（板情報）が必要です。フィードに板情報がなければ何も描かれません。ある場合は Wall size multiple か Wall min age to show を下げてみてください。
アラートの音が鳴らない	サウンドは既定でオンで、`Documents\OrderVane_Sounds\` に自動生成されます。Windows の音量と、OrderVane 設定のサウンド項目を確認してください。音はいま起きた約定でのみ鳴ります — 履歴マーカーの読み込み時は無音です（設計どおり）。cluster の音については、Aggression cluster detection も有効にする必要があります（既定はオフ）。無効でもダイヤ型のマーカーは出ることがありますが、音は鳴りません。
マーカーが 1 つも出ない	その銘柄にライブまたは履歴の約定（time & sales）データがあることを確認してください。一部のマーカーは十分な出来高がないと現れません。
Add を押しても何も起きない	v1.5 以降、チャートに理由が 1 行で表示されます。Quantower のバージョンに言及していれば Quantower を更新し（1.144.4 以上）、それ以外の場合はその行を hello@ordervane.com までお送りください。
ウイルス対策ソフトが DLL を検知・削除する	新しく署名のないインジケーターに対する誤検知です。隔離から `OrderVane_Pro.dll` を復元し、`...\Indicators\OrderVane_Pro` フォルダを除外に追加してください。

設定リファレンス

チャート上の OrderVane の名前を右クリック -> Settings。Pro には Lite のすべてのセクション — License、Power Trades、Power Trades (Advanced)、Big Trade Display、 Adaptive Threshold、Aggression、Absorption、Sounds — がそのまま含まれます。以下は Pro が追加するセクションで、設定ウィンドウに現れる順に並べています。

> 設定名は意図的に英語のままです — Quantower の設定ウィンドウが英語のため、訳すとかえって見つけられなくなります。

すべて表示専用です — OrderVane はオーダーフローを可視化するだけで、注文もシグナルも出しません。新しい設定は新しいインスタンスに適用されるため、多くの方が触るのは色・行のまとめ方・しきい値くらいです。

DOM Analysis — 板の壁

壁の行には Level 2（板情報）が必要です — 板情報がなければ線は描かれません。最後の行のオーバーレイ凡例は、設定上ここにまとめられていますが、板情報は不要です。

設定	動作
Bid/ask walls (resting size)	壁の線のマスタースイッチ。
Wall size multiple (x avg)	スキャンした価格帯の平均に対して何倍の指値量があれば壁とみなすか。
Wall auto floor (adapt to symbol)	この銘柄自身の板から壁の最小サイズを導きます。典型的な板の厚みを事前に知らなくて済みます。
Wall min size (contracts)	auto floor をオフにしたときに使う手動の下限。
Wall scan depth (levels)	板を片側何段までスキャンするか。
Wall threshold mode / Wall percentile (0.50-0.99)	平均の倍数で判定するか、スキャンした分布のパーセンタイルで判定するか — そしてどのパーセンタイルか。
Wall combine ticks (1=off)	判定の前に隣接ティックを 1 つの価格帯にまとめます。呼値の細かい銘柄向け。
Wall min age to show (sec, 0=off)	壁を描くまでに必要な存続時間。数秒で引っ込む見せ板を除外します。
Wall bid color / Wall ask color	買い側・売り側の壁の線の色。
Wall show size label	線の横に指値量を表示します。オフなら線だけを描きます。
Overlay legend (level types)	チャートに描かれている線とゾーンの種類を名前付きで示す、折りたためるボックス。既定でオンで、`> Legend` のピルから始まるため、クリックするまでほとんど場所を取りません。

Footprint — セル

設定	動作
Footprint cluster cells enabled	足の内側の売買ラダーのマスタースイッチ。
Footprint lookback bars	予備の上限です。通常セルは表示中の範囲に合わせて構築されるため、左へスクロールしても埋まり続けます。この値は、その表示範囲が解決できないときにだけ使われます。
Footprint tick engine	プラットフォームのボリューム分析を待たず、OrderVane 自身のティック集計でセルを構築します。時間足を切り替えてもすぐ表示されます。
Tick backfill hours / Deep tick backfill	ティックを何時間分要求するか、そしてバックグラウンドでさらに過去へ遡るか。いずれもブローカーがティック履歴を提供していることが前提です。

設定	動作
Footprint: read Volume Profile	Volume Profile 集計のチャートでは、各足に既に格納されている価格帯を直接読み取ります。通常の時間足チャートでは何もしません。
Footprint cell data type	セルの数字が何を表すか：出来高、約定件数、その価格帯の買値・売値の割合、平均約定サイズ。
Footprint column layout	買値と売値を左右 2 列に並べるか、出来高またはデルタを 1 列で表示するか。
Footprint bar style	見た目を一括で切り替えます：Custom、Numbers、Histogram profile、Delta blocks、Volume blocks、Ladder、Heat row。
Footprint color scheme	9 種類のセル配色（Classic、OrderVane、OrderFlow、LightWater、Monochrome、Gold/Purple、Steel、Ice/Fire、Neon）。
Footprint cell intensity basis	セルの濃淡を出来高に追随させるか、デルタに追随させるか。
Footprint cell intensity reference / Footprint intensity fixed value	濃淡の基準を足ごと、画面全体、または指定した固定値のどれにするか。
Footprint cell background style	中央分割、出来高を右寄せ、または外側の端に向けて分割。
Footprint cell volume bars / Footprint cell bar scale	各数字の背後に描かれるバーと、その基準を画面全体・その足のみ・その足に平方根カーブを掛けたもののどれにするか。
Footprint cell number format	自動（k）、生の数字、または K/M。
Footprint cell text align	1 列レイアウトでの数字の揃え方。
Footprint cell text high-contrast	通常の数字を中立色にし、背後に暗い下地を敷きます。これにより色はインバランスと POC のために残されます。
Footprint hide zero values	片側に約定がなかったときの「0」を隠します。
Footprint grid background	セル領域の背後にある、より暗いパネル。
Footprint big cell top N	各足で最も大きい N 個のセルを強調します（0 = オフ）。
Footprint delta outlier highlight	その足の中でデルタが外れ値になっているセルを縁取ります。
Footprint price step (ticks, 1=off)	1 行に何ティックをまとめるか。
Footprint price step auto (ATR)	直近のボラティリティから行のまとめ方を導きます。オンのとき、この値と手動値の大きい方が使われます。
Price step ATR length / Price step ATR multiplier	自動まとめが使う ATR の期間と倍率。
Footprint row height dynamic / Footprint row height (px, 8-40)	行の高さをズームに追随させるか、ピクセル固定にするか。
Footprint row height gap (px)	行と行のあいだの視覚的な間隔。

設定	動作
Footprint cluster min bar width	この足幅を下回るとセルを隠し、ローソク足だけを描きます。
Footprint text min bar width / Footprint text min row height	これらを下回るとセルの数字を隠し、Footprint: hide cells when numbers do not fit がオン（既定）のあいだはセルも隠します。オフにすると色のブロックだけが残ります。
Footprint text dust filter %	その足の最大セルに対してこの割合より小さいセルは数字を出しません。インバランスの行と POC は対象外です。
Footprint text avoid candle body	数字をローソク足の実体に重ならないよう横へずらします。
Footprint cluster render width % / Footprint bar spacing px	セルが足幅のどれだけを占めるか、そして足と足のあいだの固定ピクセル間隔。
Footprint cell margin (px, 0-10)	セル領域内の左右のマージン。
Footprint volume profile	各足の横に描く水平の出来高ヒストグラム。
Footprint profile width % (10-50) / Footprint profile gap (px, 0-10)	その幅と、足とのあいだの間隔。
Footprint profile color mode	単一の出来高色にするか、デルタの向きで色分けするか。
Show volume on bar / Show delta on bar	各足の上に出す合計出来高とデルタのラベル。
Show extreme delta highlight / Extreme delta percent	出来高に対するデルタの比率が指定の割合を超えたとき、デルタのラベルを強調します。
Footprint value area style	背景の着色、点線の境界、またはその両方。
Footprint VA lines on zoom-out	セルが隠れた後もバリューエリアの点線を残します。
Show zero print levels / Zero print min side volume	片側にまったく約定がなかった行を印し、反対側にどれだけ約定があれば対象とするか。既定でオン — チャートが混みすぎる場合は出来高しきい値を上げてください。
Reload markers	同じ価格で同じ方向の大口約定が続けて出ている場所を印します。
Reload window (sec) / Reload min count	その時間窓と、必要な繰り返し回数。
Unfinished auction marking	両側に約定があった足の高値・安値を印します。既定はオフ — 使うときに有効にしてください。
High-volume bar basis / Highlight high-volume bars	サイズのしきい値を超えた足全体を金色で縁取ります。そのしきい値が何を測るかも選べます（0 = オフ）。

設定	動作
Footprint quick panel (on-chart)	チャート上のボタンとクイックパネル。

設定	動作
Show volume on bar (top/bottom totals) / Show delta on bar (top/bottom totals)	各足に描かれる合計出来高とデルタのラベル。どちらも既定でオン。
Show extreme delta highlight (bar bottom)	デルタが異常に偏った足を印します。既定はオフ。
Highlight high-volume bars (total volume, 0=off)	合計出来高が指定値を超えた足を縁取ります。0 でオフ。
Footprint cluster min bar width (px)	セルを描き始めるのに必要な足幅。これを下回るとローソク足だけになります。
Footprint text min bar width (px)	数字を描き始めるのに必要な足幅。2 つのしきい値のあいだでは、既定ではセルも隠れます。Footprint: hide cells when numbers do not fit をオフにすると、色は付くが数字のないセルになります。
Footprint profile min bar width (px)	横のヒストグラムを描き始めるのに必要な足幅。
Footprint: hide cells when numbers do not fit	数字が収まらないズームでは、色のブロックを残さずセルごと隠します。既定でオン。
Footprint: numbers need histogram	ヒストグラムも描かれる場所でだけセルの数字を描き、数字が背後の形なしに浮かないようにします。
Footprint: bar column separator	各足の境界に淡い線を引き、1 本の足のラダーが 1 つのまとまりとして読めるようにします。

Imbalance — インバランスとスタックゾーン

設定	動作
Footprint imbalance ratio	反対側が何分の一以下なら、その半セルをインバランスとみなすか。
Imbalance basis	出来高比で判定するか、デルタで判定するか。
Imbalance mode	同じ行の左右を比べるか、隣の価格と斜めに比べるか、その両方か。
Diagonal imbalance enabled (adjacent-price)	有効にすると、ある価格の売値側を 1 ティック下の買値側と比較します（買値側は 1 ティック上の売値側と）。既定はオフ。
Imbalance highlight style	半セルの縁取り、または行全体を囲む金色のボックス。
Show stacked imbalance accent (per-cell side segments)	有効にすると、積み重なった各セルのインバランス側に細い色帯を付けます。

設定	動作
Imbalance auto min volume	画面上の内容から行の最小出来高を導きます。銘柄や時間足を切り替えてもフィルターが機能し続けます。
Imbalance min volume (0=off)	代わりに手動の下限を使います。反対側が空のときに 1 枚の約定が無限倍として扱われるのも防ぎます。
Imbalance min delta (0=off)	同じ方向にこれだけのデルタがあることも条件に加えます。
Imbalance tiers enabled	有効にすると、より強いインバランスを別の色で表します。
Imbalance tier 2 ratio / Imbalance tier 3 ratio	第 2・第 3 段階が始まる倍率（0 = オフ）。
Imbalance tier 2 color / Imbalance tier 3 color	それぞれの色。
Footprint stacked imbalance bins	連続して何行のインバランスがあればゾーンとするか。
Stacked imbalance zone extend (until broken)	価格がそこを抜けるまで、ゾーンを右へ延長します。
Stacked zone max active (1-50) / Stacked zone max age bars	同時に画面に残すゾーンの数（新しいものを優先）と、古いゾーンが期限切れになるタイミング。
Equal bid/ask highlight	有効にすると、両側の出来高がほぼ同じ行を印します。
Equal bid/ask tolerance (%) / Equal bid/ask color	どれだけ近ければ同じとみなすかと、使う色。

設定	動作
Imbalance tier 2 ratio (0=off) / Imbalance tier 3 ratio (0=off)	基本倍率の上に置く任意の第 2・第 3 しきい値。それぞれ色を持ち、5 倍のインバランスと 15 倍が同じに見えないようにします。0 でオフ。
Stacked zone max age bars (20-2000)	触れられていないスタックゾーンをどれだけ延長し続けてから取り下げるか。

POC & Value Area

設定	動作
Show POC highlight (yellow fill + outline + star)	各足で最も出来高の多かった価格を印します。
POC highlight color	その色。
POC outline width (px)	縁取りの太さ。
POC show star marker	塗りと縁取りに加えて、星も描くかどうか。
Naked POC extension (until touched)	有効にすると、触れられていない足の POC を価格が戻るまで右へ延長し、その後フェードさせます。

設定	動作
Show per-candle Value Area shading	各足の出来高加重の中心域を印します。
Value Area percent (50-95, std 68)	バリューエリアがその足の出来高のどれだけを覆うか。業界の慣例は 68 です。 1 から 100 までの整数ならどれでも使えます。クイックパネルの STYLE グループの Value area % が同じ設定です。

Candles & Takeover

設定	動作
Cover platform candles	Quantower 自身のローソク足を隠し、OrderVane のものと重ならないようにします。既定でオン。
Cover mode	隠し方：背景全体、ローソク足の領域のみ、色の塗り替え、またはプラットフォームのローソク足描画そのものを止める（既定）。
Cover color / Cover background sampling	カバーモードが使う色と、周囲のピクセルをサンプリングして他のインジケーターの背景に合わせるかどうか。
Wide candle overlay enabled	OrderVane 自身のローソク足を描きます。プラットフォームのローソク足が隠れている状態では、これがあなたのローソク足です — 元に戻すには両方をオフにしてください。
Wide candle style	Classic、Border only、Modern left、Modern center、Brick、Histogram、Gradient、または固定 12 px 幅。
Candle body width (% of bar)	足幅に対する実体の幅の割合。
Wide candle width multiplier	ローソク足の領域全体を拡大縮小します。
Wide candle body opacity	実体の塗りの不透明度。下げると背後のセルが見えます。
Candle outline width (px)	枠とヒゲの太さ。
Wide candle border color	方向で色分けするか、固定のシアン／白／黄にするか。
Candle up color / Candle down color	陽線と陰線の色。
Candle fill dim over cells (%)	セルの数字が見えるズームでは実体の塗りを暗くし、数字を読みやすく保ちます。100 で暗くしません。
Wide candle wick end marks	有効にすると、始値と終値に短い横線を描きます。
Style preset (apply once)	調和のとれた表示設定一式 — Signature、Classic、Minimal Delta — を一度に適用し、その後 Custom に戻ります。
Delta shadow when zoomed out	セルが隠れた後、各足の下に描かれる方向の三角。

Bar Stats — 足ごとのグリッド

1 本の足につき 1 列、1 つの計測につき 1 行。チャートの上端または下端に固定されます。行は 1 つずつ切り替えられます。

設定	動作
Bar stats grid enabled (per-bar Vol/Delta/MaxD/MinD/V-s/Dur)	グリッドのマスタースイッチ。
Bar stats grid position	チャートの上と下、どちらに固定するか。
Bar stats: show Volume row / show Delta row	各足の合計出来高と、買い引く売り。どちらも既定でオン。
Bar stats: show Delta% row	その足の出来高に対するデルタの割合。
Bar stats: show Cum Delta row (session)	セッション開始からの累積デルタ。
Bar stats: show Max Delta row / show Min Delta row	終値時点だけでなく、足の中で到達した最大・最小のデルタ。
Bar stats: show Vol/Sec row	出来高を足の長さで割った値。
Bar stats: show Duration row	足の長さ（秒）。時間足では定数のため既定はオフで、ティック足やレンジ足でのみ有用です。
Bar stats: show Trades row / show Buy volume row / show Sell volume row	約定件数と、買い・売りを分けた出来高。既定はオフ。これらを報告するデータソースが必要です。
Bar stats: show POC price row	各足で最も出来高の多かった価格を、価格として表示します。
Bar stats: show Delta change row	この足のデルタから前の足のデルタを引いた値。
Bar stats: heat coloring (value-scaled cell background)	画面上の内容に対する大きさで各セルを着色し、数字を読まずに外れ値が目に入るようにします。形成中の足は基準から除外されます。
Bar stats row height px (10-24) / Bar stats: number font scale	行の高さと、高精細ディスプレイ向けの数字サイズ倍率。
Bar stats positive color / Bar stats negative color	正の値と負の値の色。
Bar stats: clearance below grid (%)	グリッドと価格領域のあいだに追加で確保する余白。
Bar stats: bottom offset (px)	下端に固定したグリッドを持ち上げます。プラットフォームがそこに独自の出来高ヒストグラムを描く場合に使います。

Tape Speed — 計測行

テープ速度：約定がどれだけ速く届いているかを、固定値ではなく、このセッション自身の平均を基準に判定します。

設定	動作
Bar stats: show Tape speed row	統計グリッドに速度の行を追加します。
Bar stats: tape speed style	Meter（バー）、Numbers + heat、または Meter (bipolar)（既定）— デルタが正の足のバーを中心線の上に、負の足のバーを下に置きます。
Bar stats: tape meter metric	この行が測るもの：平均約定サイズ（既定）、約定件数/秒、出来高/秒、デルタ/秒、買いまたは売りの件数/秒、買いまたは売りの出来高/秒。
Bar stats: tape control line period / tape control type	行の上に描く移動平均と、それが単純か指数か。0 でオフ。
Bar stats: tape hot threshold (x control)	コントロールラインの何倍を「hot」とみなすか。hot の足には目立つ先端が付きます。
Bar stats: tape meter row height (px)	速度行の高さ。ヒストグラムなので、文字の行より高さがあると読みやすくなります。
Bar stats: tape meter height mapping	バーの高さを圧縮するか、線形にするか、平常からの乖離でスケールするか。
Bar stats: tape meter volume backdrop	速度の行に 2 本目のバー（既定は出来高）を加え、両方を同時に読めるようにします。既定では各速度バーの隣に並び、ごく狭くズームアウトすると速度バーだけが残ります。
Bar stats: tape meter 2nd series / 2nd series style	同じ行に置く任意の 2 つ目の計測と、両者をどう描くか。
Tape hot alert	オフ、視覚的なフラッシュ、またはフラッシュと音。テープが hot になったときに発火します。

Range Profile — ドラッグして描画

チャートの任意の区間にボックスをドラッグすると、OrderVane はまさにその範囲のプロファイルを構築します。各ボックスは自分の設定を保持します。

設定	動作
Range profile on rectangles	マススイッチ：描いた矩形をプロファイルに変えます。
Range profile draw button (on-chart)	ドラッグ描画を開始する、左端のボタンを表示します。
Range profile quick chips (click under box)	選択中のボックスの下に出る、ソース・バリューエリア・POC・行のまとめ・マグネットのチップ列。
Range profile left source (0=Off 1=Vol 2=Delta 3=Buy 4=Sell) / right source	各サイドに何を表示するか：出来高、デルタ、買い、売り、TPO。左右で別のソースを使えることが、この蝶型レイアウトの狙いです。
Range profile left overlays (bitmask) / right overlays	塗りつぶしのプロファイルの上に、別のソースを輪郭として重ね、形を比較します。
Range profile overlay width (% of bar, 10-100)	その輪郭の行を、塗りつぶしプロファイルに対してどれだけの長さで描くか。

設定	動作
Range profile POC line / value area / value area % (50-100)	最も出来高の多い行、バリューエリアの帯、そしてそれが覆う出来高の割合。
Range profile VWAP line / VWAP color	最終値に水平線を 1 本引くのではなく、ボックスに沿って発展していく出来高加重平均価格の線。
Range profile price step (ticks, 1=off)	ボックス内で 1 行に何ティックをまとめるか。
Range profile width (% of box)	バーがボックス内でどこまで伸びるか。
Range profile baseline (0=Left edge, 1=Right edge)	バーがボックスのどちらの端から伸びるか。
Range profile common scale across boxes	すべてのボックスで 1 つのスケールを共有し、大きさを比較できるようにします。オフなら各ボックスが自分の幅を使い切ります。
Range profile absolute scale (vs volume max)	デルタ側を自分の最大値まで引き伸ばさず、出来高側と同じスケールに保ちます。
Range profile intensity by value	静かな行を暗く、活発な行を明るくして、形をひと目で読めるようにします。
Range profile value labels	各行の端に実際の数値を、さらにボックスの合計を表示します。
Range profile smooth silhouette	行が十分に高いとき、行と行のあいだを補間して階段ではなく連続した輪郭にします。
Range profile edge outline / outline color	各行の先端に沿って引く輪郭線。
Range profile row gap (px, 0-3)	行と行のあいだに隙間を空け、別々の価格帯として読めるようにします。
Range profile LVN bands / LVN threshold %	活発な領域のあいだにある出来高の谷を強調します。また、行がどれだけ低ければ対象とするか。各帯には谷の際立ち具合が表示されます。
Range profile: tape histogram / tape source / tape step (ticks) / tape width (% of box) / tape contrast	ボックス内の任意の速度プロファイル：各価格がどれだけ速く通過されたか。ソース・行のまとめ・幅・コントラストを個別に持ちます。
Range profile: fast LVN highlight	出来高が少なく、かつ速く通過された行 — 約定せずに価格が通り過ぎた場所 — を印します。
Range profile volume color / value area color / value area fill color	バー、バリューエリアの線、その塗りの色。
Range profile POC line color / delta up color / delta down color	POC の線と、正負のデルタの色。

設定	動作
Range profile TPO scaled to volume (area-matched)	TPO のカウントを出来高のスケールに換算し、TPO の輪郭と出来高プロファイルを同じものさしで読めるようにします。
Range profile magnet (snap to bars)	ドラッグした端を近くの足の時刻と価格にスナップします。自由な配置を既定に保つため、初期状態はオフです。
Range profile auto-style box (no fill, points border)	新しく描いたボックスがチャートを覆わないよう、塗りつぶしなし・点線の枠にします。作成時に一度だけ適用されるため、その後の変更は保持されます。
Range profile max boxes (1-32)	同時に描くボックスの数。

Bar-POC dots

設定	動作
Bar-POC 4-type enabled	各足で最も出来高の多かった価格をドットで印します。既定はオフ。
Bar-POC delta mode	どの足を対象にするか：すべて、正のデルタのみ、負のデルタのみ、または両方を別々に印す。
Bar-POC lookback bars	どこまで遡って描くか。

Session Levels

直前のセッションから構築し、今日の取引のあいだチャートに残します。ここにあるものはすべて表示専用です。

設定	動作
Session levels	セッション水準レイヤー全体のマスタースイッチ。
Session levels: previous session profile	直前セッションのボリュームプロファイルを、そのセッションがあった位置に描きます。
Session levels: sessions back	何セッション前まで描くか（1-10）。追加分は淡く描かれ、タッチバンドは付きません。
Session levels: extend VAH/VAL/POC right	この 3 本を今日の取引を横切って延長し、それぞれに価格を表示します。
Session levels: touch band	各線の両側に数ティック幅の帯を着色し、「その水準にいる」という状態に幅を持たせます。
Session levels: absorption at touch	異常に大きな労力に対して突き抜けが浅かったタッチを印します。起きたことの観察であり、予測ではありません。
Session levels: value area (%)	バリューエリアがそのセッションの出来高のどれだけを覆うか（1-100）。セッションのプロファイルでは 70 が業界の慣例です。
Session levels: band ticks	タッチバンドの幅（ティック、1-20）。

設定	動作
Session levels: session hours (blank = auto)	取引所のローカル時間で表したセッションの時間帯（例: 08:00-13:30）。空欄にすると、CME の指数・エネルギー・金属・金利・通貨・穀物の先物では取引所の通常取引時間、その他の市場ではチャートのセッション一覧を使います。取引日全体は full と入力します。
Session Map window	Session Map を専用のウィンドウで開きます：直近 5 セッションと今日を 1 本の価格軸に並べたものです。既定でオン。タイトルバーの X ボタンで閉じると、閉じたままになります。

Pro に含まれるその他

Pro はフルセットです。ここまでのすべてに加えて計測レイヤー — チャート端に固定される足ごとの統計グリッド（出来高・デルタ・極値など、行単位で切り替え）、グリッド内のテープ速度計測行、ソースとオーバーレイをボックスごとに設定できるドラッグ描画式レンジプロファイル、積み重なったインバランスのゾーン、そして Bar-POC ドット。これらの設定は設定ウィンドウのそれぞれのセクションにあります。本ガイドはまず前述のセクションを説明します。残りはクイックメニューから探せる程度に、名前が十分わかりやすくなっています。

サポート

- Website: https://ordervane.com
- Email: hello@ordervane.com

免責事項

OrderVane は分析・可視化ツールです。投資助言ではなく、トレードシグナルを提供することはなく、注文を発注することもありません。先物、CFD、FX の取引には、当初預託金を上回る損失を被る可能性を含め、多大な損失リスクが伴います。マーケティングで示されるシミュレーションやバックテストの統計は仮定的なものであり、ヒストリカルデータに基づくものであって、将来の成果を保証するものではありません。すべてのトレード判断および結果について、お客様が単独で責任を負います。完全な条項については、https://ordervane.com/eula のエンドユーザー使用許諾契約（`OrderVane_EULA.pdf` としても同梱）をご覧ください。